

成人T細胞白血病リンパ腫患者の同種移植後に発症した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の研究について

血液腫瘍内科 今井陽一

成人T細胞白血病・リンパ腫(以下ATL)はHTLV-1ウイルスによって引き起こされる難治性のT細胞腫瘍です。化学療法による初回治療に反応性がみられた患者さんで、HLA一致血縁、非血縁ドナーが得られ、かつ移植適応例である場合、同種造血幹細胞移植が長期生存を期待できる治療法として推奨されております。当院では、国立がん研究センター中央病院と連携して化学療法から移植までを一連の治療体系として取り組んでおります。ATLの治療効果はもちろん、治療に伴う合併症に対する検討も重要であり、我々はATLの化学療法後に同種造血幹細胞移植を施行された方の中で、慢性炎症性脱髄性多発神経炎を発症した方を数例認めため、今回、同様の経過をもつ患者さんの経過を解析することで、その傾向と今後の対策について検討することを目的とした研究を実施することにしました。なお、この研究は東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

1. 研究の対象となる方

本研究では、ATLの患者さんで、2005年3月以降から2017年3月末に至るまで、当院にて化学療法を施行され、国立がん研究センター中央病院で同種造血幹細胞移植を受けた患者さんのうち、移植後慢性炎症性脱髄性多発神経炎を発症した方を対象としています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、当院で保管している診療情報、および、国立がん研究センター中央病院転院以降の国立がん研究センターにおける診療情報を用います。また、補助検査として、当院および国立がん研究センターで採取された患者さんの髄液を聖マリアンナ医科大学にて解析を行い、この結果も用います。

当院、国立がん研究センター中央病院及び聖マリアンナ医科大学で、診療情報を共有しますが、その際は情報に番号を付けて、匿名化します。番号と個人情報を記した対応表は、当院および国立がん研究センター中央病院それぞれで個人情報保護管理者が厳重に保管・管理します。

3. 研究期間

2017年6月2日～2022年3月31日まで

4. 研究協力の辞退について

試料・情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. 研究組織

研究責任者:

氏名 今井陽一 所属 血液腫瘍内科 職名 准教授

<所内研究分担者>

氏名 東條有伸 所属 血液腫瘍内科・分子療法分野 職名 教授
氏名 横山和明 所属 遺伝子・細胞治療センター 職名 助教
氏名 川俣豊隆 所属 血液腫瘍内科 職名 助教
氏名 越智清純 所属 分子療法分野 職名 特任研究員
氏名 小川弥穂 所属 分子療法分野 職名 大学院生(大学院医学系研究科)
氏名 神保光児 所属 分子療法分野 職名 大学院生(大学院医学系研究科)
氏名 平野光人 所属 分子療法分野 職名 大学院生(大学院医学系研究科)

<所外研究従事者等>

氏名 内丸薫 所属 新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻 病態医療科学分野 教授
氏名 山野嘉久 所属 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 職名 教授
氏名 福田隆浩 所属 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 職名 科長
氏名 稲本賢弘 所属 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 職名 医員
氏名 田中喬 所属 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 職名 医員
氏名 大野伸広 所属 関東労災病院 血液内科 職名 副部長

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究機関名	研究責任者	職名	電話番号
東京大学医科学研究所 附属病院血液腫瘍内科	今井陽一	准教授	03-3443-8111 (内線 75442)